

リレー記事 No.105

家庭の3R実践

この秋、福岡県主催、エコけんが企画・運営している「3R」の取り組みを学ぶ「大人のためのリサイクル見学会」が実施されます。そこで、家庭の3R実践を取り上げてみました。

「3R」とは、ごみを減らすための行動を表す言葉で、**リデュース**（ごみを減らす）・**リユース**（繰り返し使う）・**リサイクル**（資源として再利用する）の3つの『R』のことです。

■まず最初に取り組みたいのが『**リデュース**』です。
ごみを減らすために最も簡単で効果があります。

※必要のないものは買わない

買い物に行くときつい余計な物まで買ってしまうことはないですか？ 予め必要な物のメモして買い物する習慣をつけるといいですね。冷蔵庫や食品庫を写メして買い物に行くという方もいらっしゃるようです。良い物を長く大切に使う事も大切なポイントですね。

※使い捨てのものなど、ごみになりそうなものをなるべく選ばない

シャンプーやリンスなど、詰め替え用はおおいに活用します。過剰包装のものはなるべく選びません。

■そして、洗浄したり修理して「もう一度使う」『**リユース**』。

※古着や古本、フリーマーケットの利用

お子さんがいるご家庭は、「おもちゃのかえっこ」も利用してみてください...

※ビールやジュースなどのビン回収し再利用する「リターナブルビン」利用

■最後に素材毎に分類して集め、製品の原料として「再資源化」する『**リサイクル**』です。

※新聞紙・紙パック・ペットボトル・空き缶などルールに沿って分別し、資源ごみの回収に出す

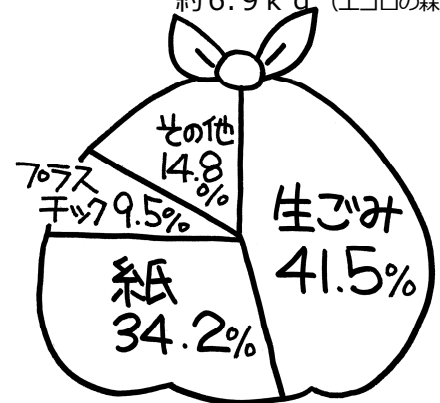
（スーパーや市役所など）にも回収BOXが設置。大型スーパーでも回収してたりします。の子ども会で廃品回収を実施している所もあり

私たちの生活から毎日出る「ごみ」。このごみ問題の解決には、一人一人がごみを少なくするライフスタイルにする必要があると感じます。

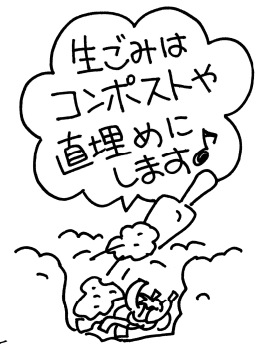
<<Pっぱー>>

燃えるごみの内訳

4人家族3日分の平均ごみ量
約6.9kg (エコロの森)



*重量比
割合：平成22年度京都市「燃やすごみの組成」



資源ごみの分別や生ごみの直埋めで燃えるごみの量がぐんと減ります♪



エコロの森「再生・展示棟」 今日この頃

エコロの森の再生・展示棟がオープンして、今年は16年目となりました。その間、運営の柱は変わらずとも、社会情勢の変化に則して活動は少なからず揺れ動かされます。一見同じことの繰り返しのように見えて、実は常に変化が生まれるのです。今日この頃の【再生・展示棟】についてちょっぴりご紹介いたします。

「エコロ環境教室」の依頼が激増！

往々にして、施設見学の依頼はオープン時から次第に少なくなっていくがちです。環境学習施設である再生・展示棟としては、なんとしてもそれは避けたいところです。そのためにいろいろ知恵を絞っているわけですが、この頃再生・展示棟としての本丸である、工場見学と環境講座・体験をセットにした「エコロ環境教室」が人気です。スタッフにとっては事前打ち合わせから、準備や当日の案内や講座講師、報告書づくりまで、結構なお仕事ですが、依頼者の意向に沿うよう精一杯がんばってきた成果がじわじわ現れているのかもしれない。



ファン・ファン! エコロ ～秋まつり～



風を送り出す「ファン」、楽しむ「ファン」がかけ算になった「ファン・ファン! エコロ」は、年3回行う館内イベントで、それぞれにテーマがあります。この秋は、10月21日(土)を予定しています。このところ、施設の受け入れ上限と思われる700～800人にご来館者いただけるようになりました。



お気づきかもしれませんが、(エコけんの中では)若手スタッフがエコロを切り盛りしています。女子がのびのびと柔軟なチカラを発揮する職場でありたいなと思っているところですが、古株の押しつけになっていないかしたいと思いつつも振り返ってほしいと思います。

《S》

3R協働推進事業の受託

今年も福岡県3R協働推進事業「大人のためのリサイクル見学会」の企画運営を受託しました。これまで、よりよい企画となるよう事前に県内のさまざまな事業所や大学、清掃工場などを訪問して、それぞれの立場の3Rの取り組みを見学したり、話を聞いたりしてきました。

この事業の面白いところは、見学しながらリアルで目からウロコの話を開けたり、事業者さんの個性が垣間見えたりすること、県内の様々な年代と地域の方と接することができることです。もちろん、集客や調整に苦労することもあります。見学会の最後にみなさんが3R実践への意欲をもたれ、笑顔で帰られるとそれまでの苦労は吹き飛びます。

2017年『大人のためのリサイクル見学会』

10/10 (火) **ロボットコース** 博多駅発着
(株)安川電機～皇后崎工場

11/ 8 (水) **住まいコース** 小倉駅発着
大和ハウス工業(株)九州工場～古賀清掃工場



とんてん教室

旬な情報を取り入れたミニ教室を開催しています。ぜひ参加ご予約下さい。

～甘酒づくり～

米麹を使ったアルコールが入らない甘酒を手作りしましょう。

10月13日(金) 10:30～12:00

参加費：500円(国産米麹200g持ち帰り付き)

場 所：エコロの森(古賀清掃工場)再生・展示棟



～残り物でおやき風～

余ったおかず、汁物をおやき風にして食べきる提案をします。

11月10日(金) 10:30～12:00

参加費：300円

場 所：エコロの森(古賀清掃工場)再生・展示棟



未来を創ろうインタビュー

No.57 玄界環境組合 古賀清掃工場 場長

藤木 恵介 氏

本年度より、エコロの森の場長に就かれました藤木さんにお話を伺いました。

新宮町で上下水道課に長く勤務されていた藤木場長は、台風や大雨になり警報が出れば、深夜でも招集されていたそうです。以前なら20年に一度と言われていた水害などが、毎年のようにおこり、被害を聞くことも増えてきたことに、自分たちに降りかかる温暖化の影響をひしひしと感じると話されました。



● 未来のために、今、何が重要だ考えですか

▲ 温暖化防止のための取り組み

ひとりひとは小さなことでもみんなが実行する。

● そのためにご自身が暮らしの中で心がけていることがあれば聞かせてください。

▲ 生活の中での小さなことの積み重ね。

- ・ 冷暖房の適切な温度設定
- ・ 通勤以外、できるだけ公共交通機関を使用
- ・ こまめな照明の消灯

未来を創る私の思い

「地球温暖化

けっして他人事ではない」

上下水道課におられたことを受け「私たちが、排水のことで何に気をつけたらいいでしょうか。」の問いに、「油（食用廃油・灯油）を流さないでください。」とのことでした。家での処理がめんどくさいからと流す人が、いるんですね。下水を浄化する好気性微生物が、油にまみれると生存しにくくなるそうです。また、何でも下水に流す人がいるらしく、下水道管の途中にある中継ポンプに詰まってしまうこともままあるらしいです。そして、ペットのウンチはトイレに流さず、燃えるゴミに出す、というのは皆さんご存知でしたか。なかなか勉強になりました。

藤木場長は、ご実家のお手伝いで、田んぼの作業をされることもあるそうです。田んぼは緑のダムともいわれ、洪水を防ぐことにもつながります。若い人たちが、稲作にもっと参加してくれるといいのですが、と、穏やかに話されました。

《ひらっち》

未来を創るインタビュー

No.58 くわの農園 くわの 由美 氏

福津市本木にあるくわの農園さんで、くわの由美さんにお話を伺ってきました。

くわのさんは、米、イチゴ、キャベツなどを生産する専業農家として、SNSを駆使して生産物は全量直接販売されておられるそうです。農産物を直接販売する農家さんは2割程度だそうで、その手法などについて農業大学などで講演されることもしばしばというとてもパワフルな方でした。

Q. 未来のために、今、何が重要だ考えですか

A. 農業のある暮らしが未来につながる。土地は自分個人のものではなく、先祖から受け継いだものであり未来に残すべきもの。

Q. そのためにご自身が暮らしの中で心がけていることがあれば聞かせてください。

A. 簡易包装。

お客様の了解が取れば作物は通い箱として何度も使う。これは直接お客様とつながっているからこそできること。ごみ減量にもコストダウンにもつながる一挙両得の方法。



未来を創る私の思い

農のある暮らし 育てる・伝える・つながる・未来へ

お話を伺った作業場には、天井に届こうかというたくさんの通い箱が積まれていました。くわのさんご自身が回収と発送を繰り返されることで、何度も役目を果たすことのできる箱達です。安心安全な作物とともに、くわのさんの思いも運んでくれているのでしょう。

くわの農園では、農業体験も受け入れておられるそうです。もしかしたら体験を通してお店に並ぶ農作物の見方も変わるかもしれません。この秋、チャレンジしてみられるのはいかがでしょうか。

問い合わせ先：くわの農園 電話(090-9471-3263)

《S》



ぼらんず
雨天中止

毎月のボランティア清掃は、ホームページのスケジュールに掲載。詳しくはお問合せください。



「ぬりつなぎ計画」進行中!

『ぬりつなぎ計画』は、大きく3つの企画の複合計画です。

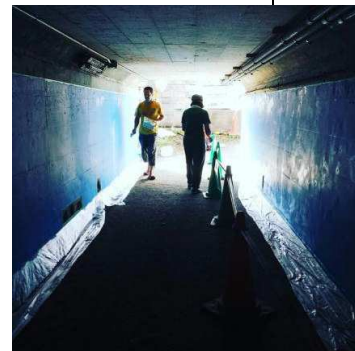
①古く汚くなった壁画の塗り替え (4か所)

- A 9/30 (土) 11:00~16:00 古賀中学校北西アンダーパス
- B 10/ 1 (日) 11:00~16:00 久保石原 (東田) アンダーパス
- C 10/ 8 (日) 11:00~16:00 こがめルーム外壁 (古賀市立図書館)
- D 10/14 (日) 11:00~16:00 古賀市立中央公民館別棟外壁

《塗り替えワークショップ担当》

A・B：古賀市在住アーティスト坂崎隆一氏

C・D：障害福祉サービス事業所JOY倶楽部アトリエブラヴォ
ボランティアさんなどの手も借り、すでに洗浄や下塗りは進行中です。



②活動のようすの展覧会

9/26 (火) ~ 29 (金) 事前展覧会

▶リーパスプラザこが交流館フォーラムにて

11/16 (木) ~ 18 (土) ぬりつなぎ計画壁画ペイントのようすの展覧会

▶リーパスプラザこが歴史資料館ギャラリーにて

11/19 (日)

▶リーパスプラザこが交流館内にて



事前展覧会のパネル

③古賀市民ウォーキング (ミドルコース) でのおひろめウォーキング

11/23 (木)・(祝) 8:30受付 9:00開会 古賀市役所~7km

古賀市主催の市民ウォーキングとのコラボ企画です。参加者は、①で塗り替えた壁画 (4か所) をミドルコースとしてめぐり、フォトテリングしながら壁画を楽しみます。また、写真をSNS投稿してもらうことで、古賀市を超えてより多くの人にぬりつなぎ計画のアピールになります。投稿された写真の中から坂崎氏のお眼鏡にかなったものは、ゴール地点でカードにしてプレゼントします。 ※エコけん名物「るんるん♪ごみ拾い」も出張します。



この企画の目的は、『景観保全』『アトリエブラヴォ制作への市民参加で生まれる多様性への気づきと交流』『市民が壁画技術を学び、自分の地域に愛着をもつことで次期必要となる塗り替え人材の育成』『ボランティア活動や寄付による社会課題の解決』です。

不足している資金30万円は、個人や企業の寄付を募ります。イベント参加、寄付参加、いずれも大募集中です。詳しくはお問合せ下さい。

ぬりつなぎ計画facebookは、ほぼ毎日更新中! のぞいてみてください。 <<ひらっち>>

認定NPO法人



〒811-3101 福岡県古賀市天神1丁目19-21
[TEL/FAX] 092-944-6450
[mail] ecoken@npo-ecoken.sakura.ne.jp
[HP] <http://www.npo-ecoken.sakura.ne.jp/>



ecoken